

もしも税金がなかったら

藤沢中学校 三年 池田 莉々彩

「税金は必要なのでしょいか。」
ある日のニュース番組で「税金」が話題になっていた。
私は、もし税金がなくなったらどうなるのだろうかと思
い、日々の生活を振り返ってみた。

「キーンコーンコーン」チャイムが鳴り、授
業が始まった。修学旅行前の調べ学習だ。私達は、資
料集やパンフレット、タブレットを使って調べる。こ
のタブレットは、一人一台ずつ市から配られたものだ。
タブレットが配布されてから、アンケートも、調べ学
習もタブレットを使うことが多くなった。そのうち、
授業で資料を見せる時にも使われるようになり、タブ
レットが配布される前よりもっと、効率が良く、見や
すく分かりやすい授業へと進化した。タブレットを無
償で使えるようになり、学習の質が上がったのだ。

しかし、無償だからお金がかかっていないわけでは
ない。配布されたタブレットには税金が使われている
のだ。税金が使われているのはタブレットだけではな
い。一人一人に配られる教科書、並べられた机や椅子、
綺麗に整備された校舎や冷暖房など、私達が快適な環
境で学べるように、多くの税金が使われているのだ。

私は、税金は学生にはあまり関わりがなく、大人の話
だと思っていたが、実はとても身近なことだった。教
科書やタブレットが配布されることが当たり前だと思
っていないか。学ぶ環境が整備されていることが当た
り前だと思っていないか。一度考えてみる。

もし、税金がなくなってしまうたら、私達はどのよ
うな環境の中で学ぶことになるだろうか。きっと、今
より快適な環境の中で学ぶことは難しくなるだろう。

大人達は普段、消費税や固定資産税、住民税など、
この他にも様々な種類の税金を納めている。このこと
を聞くと、税金の負担が大きすぎだと思う人もいるだ
ろう。しかし、この税金は医療や教育、子育て支援や
年金など様々な人々の役に立っているのだ。大人達は
税金を負担するという形でも世の中を、社会を支えて
いるのだ。私達学生は、税金に支えられ、学生生活を
送っている。そしていつか私達にも支える番がやって
くる。その時、私は恩返しができる大人になりたいと
思う。だから今は、教科書や机や椅子、身近にある物
を大切にし、私達の未来のために学びたい。恩返し
ができるその日まで…。